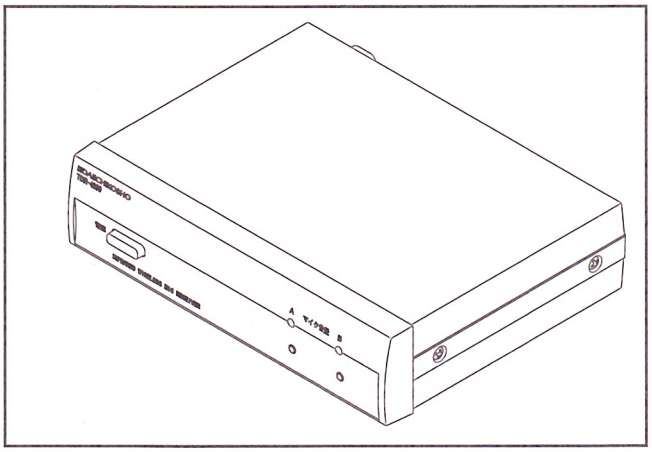
第一興商
取扱説明書

赤外線ワイヤレスレシーバー
TDR-4000



ご使用の前に必ずお読みください。

このたびは、赤外線ワイヤレスレシーバーをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくためにご使用の前にこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は常に保証書と一緒に保管してください。使用中にわからないことや不具合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

安全上のご注意（必ずお守りください）

ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。
またお読みになったあと、必要に応じていつでも見られる所に必ず保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。絵表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示の欄は「死亡または重症を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例

感電注意

△記号は注意（危険・警告）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

分解禁止

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は、分解禁止）が描かれています。

⚠ 警告

■ 万一、煙が出ている、異臭や異音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災·感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。（電源スイッチがない機器は、直接差し込みプラグをコンセントから抜いてください。）煙が出なくなるのを確認して取扱店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

差し込みプラグをコンセントから抜くこと

■ 本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。
■ 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因となります。
■ 本機の裏ぶた、キャビネット、カバーは外さないでください。感電の原因となります。内部の点検·調整·修理は取扱店にご依頼ください。
■ 弊社の指定されたサービスマン以外によって外装が開けられた場合には、その後の性能及び品質については、弊社はいっさい責任を負いません。

分解禁止

■ 本機は日本国内専用です。使用電源はAC100Vです。AC100V の電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
■ 電源コードを傷つけたり、破損しないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

■ 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、取扱店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■ ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、事故の原因となることがあります。

■ 万一、本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜いて（電源スイッチがない機器は、直接差し込みプラグをコンセントから抜いて）取扱店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

差し込みプラグをコンセントから抜くこと

■ 本機の開口部から内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

■ 万一、異物や水などが機器の内部に入った場合は、本体の電源スイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜いて（電源スイッチがない機器は、直接差し込みプラグをコンセントから抜いて）取扱店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

差し込みプラグをコンセントから抜くこと

■ 本機は室内専用です。本機に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。

■ 水場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や、水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 乳幼児の手の届かないところで使用・保管してください。落としたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

■ 雷が鳴り出したら、差し込みプラグには触らないでください。感電の原因となります。

⚠注意

■ 濡れた手で差し込みプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
■ 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被膜が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

■ 容量不足の延長電源コードは絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
■ 分岐コンセントや分岐ソケットを使用した「タコ足配線」は絶対にしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 本機の周囲の通風をふさがないでください。周囲の通風をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
・ 押し入れ、専用ラック以外の木箱など風通しの悪い狭いところに押し込む
・ テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く

■ テレビ、オーディオ機器（アンプ機器、プレーヤー機器）スピーカー等の機器を接続する場合は、まず電源を切り、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
■ 電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

■ 本機に使用するアクセサリーは、必ず本書で指定しているものをご使用ください。それ以外のアクセサリーを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

■ 直射日光が当たる場所などの異常に温度が高くなる場所に置かないでください。火災の原因となることがあります。
■ 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。
■ 調理室や加湿器のそばなど湯煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。
■ 硫黄や塩害を受けるような場所に設置しないでください。故障の原因になります。

■ 1年に一度くらいは内部の掃除を取扱店などにご相談ください。この機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については取扱店などにご相談ください。

■ 表面を傷める原因となることがありますので、外装をベンジンやシンナー系の液体で拭いたり、殺虫剤を直接散布することは避けてください。化学ぞうきんのご使用も避けてください。お手入れは必ず柔らかい布で乾拭きしてください。

■ お手入れの際は、安全のため差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。
■ 長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。
■ 移動させる場合は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜き、機器間の接続線など外部の接続線を外したことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

差し込みプラグをコンセントから抜くこと

■ 差し込みプラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず差し込みプラグを持って抜いてください。

使用上の注意 ⚠

● 赤外線を使用して音声を送信していますので、受光ユニットから離れるに従って雑音が出たりマイクと受光ユニットの間に障害物がある場合は、到達距離が短くなり、雑音が出たり、音がとぎれたりする事があります。太陽光線等強い光源のある場所では、この影響を受け正常に動作しない場合があります。これらの現象は赤外線の特性によるもので故障ではありません。
● マイクロホンの赤外線発光部や受光ユニットの表面を手で覆ったり、表面が汚れていたりしますと受信不良の原因になります。表面が汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。

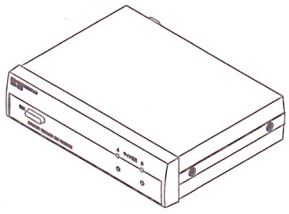
特　長

● 赤外線により音声を送信する方式を採用していますので、外来ノイズ等による影響が少なくご使用になれます。
● 同時に2本の赤外線ワイヤレスマイクロホンが使用可能です。
● お部屋に応じて受信感度の切り換えが可能です。（高 / 低）

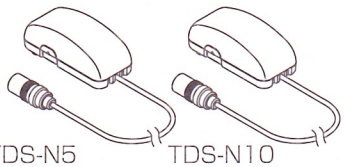
梱包内容

● この梱包箱の中には、次の物品が入っています。確認をしながら開梱をしてください。

1. 赤外線ワイヤレスレシーバー
TDR-4000: x1 台

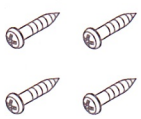


2. 赤外線受光ユニット
TDS-N5（ケーブル長 x5m）: x1 個
TDS-N10（ケーブル長 x10m）: x1 個

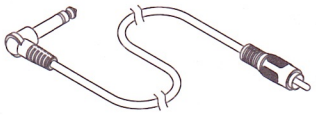


TDS-N5　TDS-N10

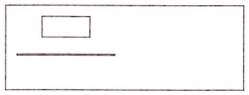
3. 赤外線受光ユニット取付け木ねじ
φ3.1mm x 16mm: x4 本



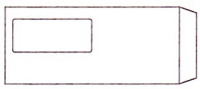
4. 接続ケーブル（RCA-φ6.3 プラグ）
ケーブル長 x1.5m : x1 本



5. 取扱説明書（本書）

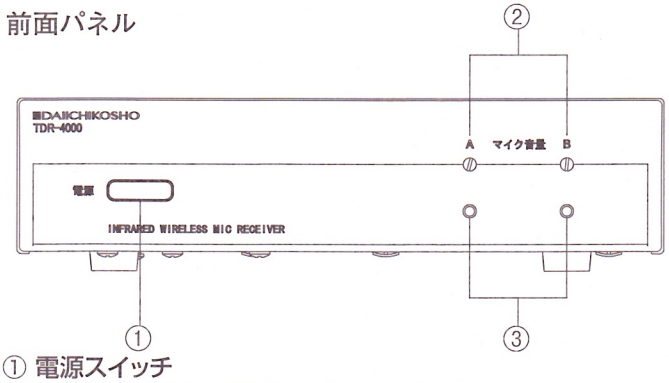


6. 保証書



各部の名称とはたらき

前面パネル

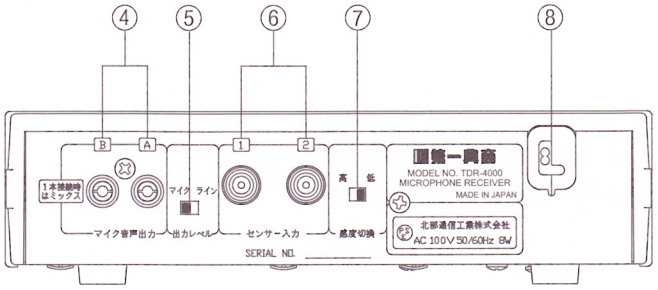


① 電源スイッチ
押すと電源が入り、再び押すと切れます。

② マイク音量調整ツマミ（A/B）
マイク音声出力の音量を調整できます。
マイクAとマイクBとの音量に差がある時はこのツマミで調整してください。

③ 受信インジケーター
このインジケーターは待機状態では緑色に、受信状態では赤色に点灯します。

後面パネル



④ マイク音声出力端子（A / B）
マイクの音声を出力する端子です。
- A B 両方に接続した場合は、マイク A とマイク B の音を別々に出力します。
- A B どちらか片方のみ接続した場合は、マイク A とマイク B の音をミックスして出力します。

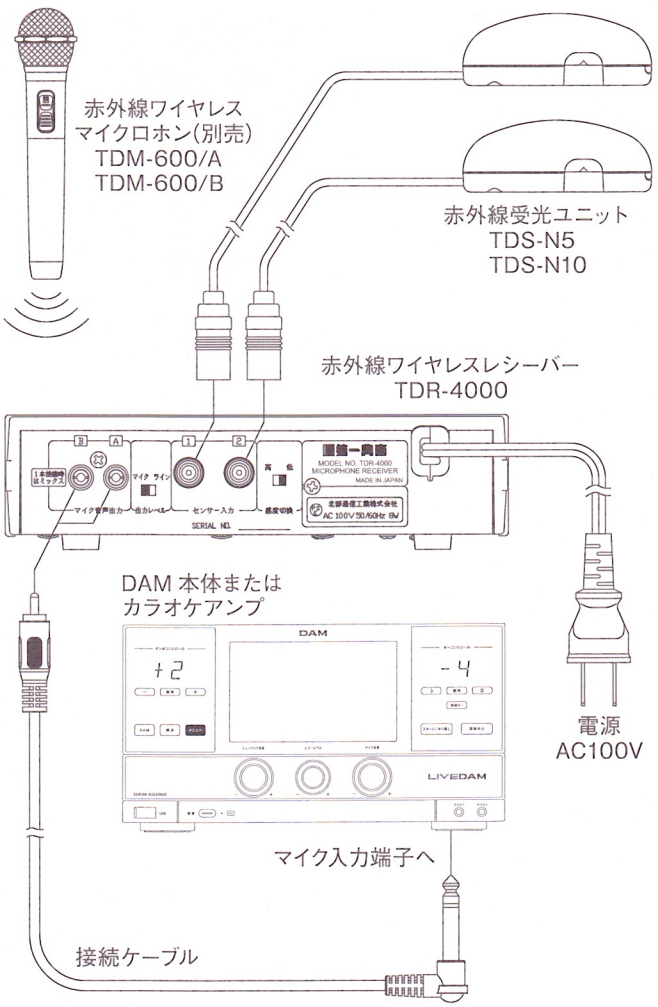
⑤ 出力レベル切換スイッチ（ライン / マイク）
マイク音声出力端子の出力レベルを切り換えるスイッチです。
マイク端子に接続の時はマイク側（約 110mV/600Ω）に、AUX 等の端子に接続の時はライン側（約 630mV/10KΩ）に切り換えてください。

⑥ 赤外線受光ユニット入力端子（1 / 2）
赤外線受光ユニットを接続する端子です。
いずれかの端子に接続してください。

⑦ 感度切換スイッチ（低 / 高）
受信感度を切り換えるスイッチです。
この切り換えにより、おおよそ 3m の感度差があります。

⑧ 電源コード
AC100V の電源コンセントに差し込んでください。
100V 以外の電源ではご使用になれません。

接続のしかた



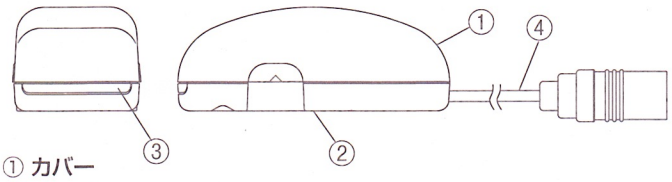
操作のしかた

1 接続のしかたに従って本機を接続します。
2 本機および周辺機器の電源をいれます。
- 本機の受信インジケーターが緑色に点灯します。

3 マイクの電源スイッチを ON にします。
- 本機の受信インジケーターマイク A、B がそれぞれ赤色に点灯します。
- 同じチャンネルのマイクを同時に 2 本使用することはできません。マイクのチャンネルを TDM-600/A、TDM-600/B の取扱説明書を参照しご使用ください。

4 マイクに音声を入れ、音量を調整します。

赤外線受光ユニット（TDS-N5、TDS-N10）各部の名称とはたらき



① **カバー**
② **ベース**
③ **通電インジケーター**
赤外線ワイヤレスレシーバーの電源スイッチを入れると LED が点灯します。
- 端子とコネクターの接続不良、ケーブルの断線などがあると点灯しません。接続等を確認してください。

④ **ケーブル**（ケーブル長……TDS-N5：5m、TDS-N10：10m）

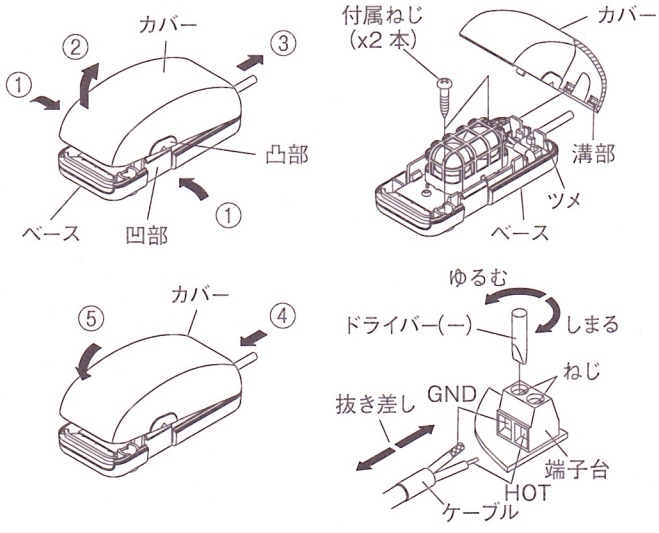
赤外線受光ユニットの取付け方法

1 赤外線受光ユニットのカバーを外します。
- ベースの凹部分(両側)を①の方向に押し込みます。
- カバーの凸部分(両側)をつまみ②の方向に引き上げます。
- カバーを③の方向にスライドしてツメかん合を外し、カバーを外します。

2 付属の木ねじ(x2本)で赤外線受光ユニットを壁等にねじ止めします。
3 カバーを取付けます。
- カバー内側の溝部とベースのツメを合わせて④の方向にスライドしてかん合させ、⑤の方向に押し込みます。

ケーブルの取り外し・取付け方法

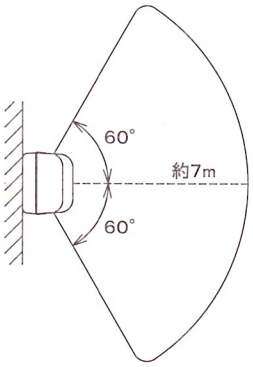
(取り外し方)
1 赤外線受光ユニットのカバーを外します。
2 ケーブルをベース溝から取り出します。
3 端子台のねじをドライバー(−)でゆるめケーブルを取外します。
(取付け方)
4 ケーブルの極性(GND、HOT)に注意して、ケーブルを端子台の取付け穴に挿入します。
5 端子台のねじをドライバー(−)で締めケーブルを固定します。
6 ケーブルをベース溝に押し込み、カバーを取付けます。



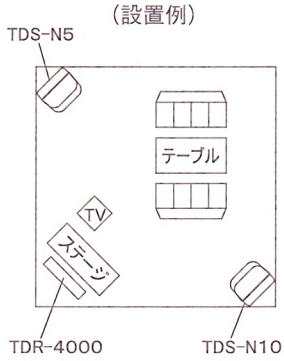
- カバーを開けるときは、必ず本機（TDR-4000）の電源を切り、ケーブルのコネクターを本機から外した状態で行ってください。故障や感電の原因となります。

赤外線受光ユニットの設置について

- 受光可能範囲は、上下左右約 60° の放射状で中心の距離は約 7m です。
- 赤外線受光ユニットはケーブル長 5m と 10m が付属されています。部屋全体を2個のセンサーで見通せるようになるべく高い所に設置してください。



（設置例）



ご注意

- 赤外線受光ユニットに太陽光、スポットライト、ネオン管等の強い光が当たると正常に動作しない場合がありますので、強い光の当たらない場所に取付けてください。
- 赤外線はガラスを透過しますので、隣接した部屋がガラス窓の場合、混信の恐れがありますので赤外線受光ユニットの取付け位置にはご注意ください。
- 赤外線受光ユニットを取付ける前に取付け場所の強度を十分に確認してください。取付け強度の不足や、取付け不備による赤外線受光ユニットの落下等の事故に対しては、弊社は一切責任を負いません。

故障かな？と思ったら

本機の使用中に「故障かな？」と思ったら、下記の事項をチェックしてください。そのうえで正常に動作しない場合、また下記以外の異常が認められた場合は、本機の取扱店にご連絡ください。

どんな症状ですか	ここをチェックしてください	このように対処してください
音が出ない	マイクの電池残量は十分でしょうか?	マイクの充電池を充電してください。または、電池を交換してください。
	レシーバーは正しく接続されていますか?	接続を確認してください。
音が小さい	レシーバーの音量調整は小さすぎませんか?	レシーバーの音量調整ツマミで適正音量にします。
	アンプの音量調整は小さすぎませんか?	アンプの音量調整ツマミで適正音量にします。
受信感度が悪い	赤外線受光ユニットのケーブルは正しく接続されていますか?	赤外線受光ユニットのケーブルを正しく接続してください。
	赤外線受光ユニットが隠れていませんか?	赤外線受光ユニットを見通せる位置に取付けてください。
	マイクの赤外線発光部を握っていませんか?	マイクの赤外線発光部を握らないでください。

保証、アフターサービスについて

1. この商品には保証書を別途添付してあります。保証書は「取扱店、お買い上げ日」をご確認の上、取扱店からお受け取りいただき、よくお読みの上、大切に保管してください。
2. 保証期間はお買い上げ日より 1 年です。正常なご使用状態で、この期間内に万一故障の際は、お買い上げ取扱店で保証書記載事項に基づき「無償修理」致します。
3. 保証期間経過後の修理
   修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により修理いたします。

仕　様

■一般特性

受信方式…… スーパーヘテロダイン
受信周波数…… MIC・A　2.06MHz
MIC・B　2.56MHz
変調方式…… 周波数変調
受信チャンネル…… 2チャンネル
トーン信号…… 36.0KHz
センサー入力…… 75Ω
出力…… マイク 110mV/600Ω
ライン 630mV/10KΩ
周波数特性…… 40Hz ～ 15KHz　±3dB
S/N 比 …… 60dB 以上
歪率…… 1%以下（1kHz）
電源電圧…… AC100V　50Hz/60Hz
消費電力…… 8W
重量…… 約 0.9kg
外形寸法（最大寸法）…… （幅 x 高さ x 奥行き）
200mm x 53mm x 161mm

■付属品

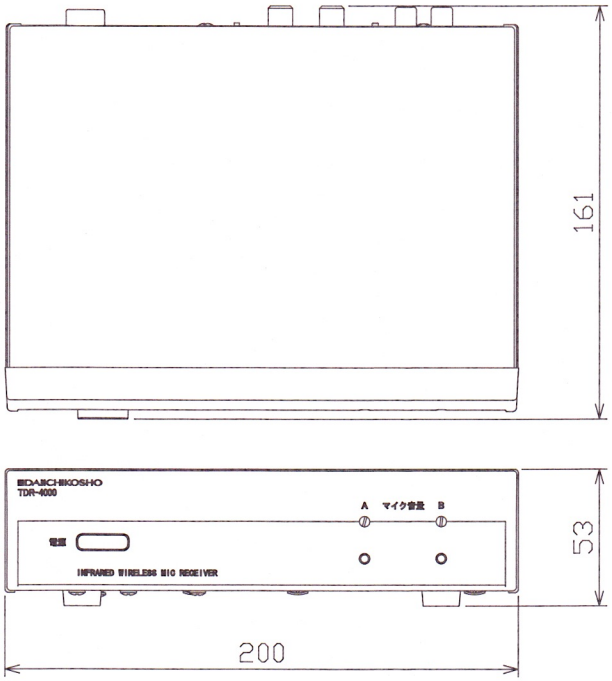
赤外線受光ユニット…… 2
- TDS-N5（ケーブル長 x5m）：1 個
  TDS-N10（ケーブル長 x10m）：1 個
- 外形寸法（突起物含まず）…… （幅 x 高さ x 奥行き）
  75mm x 28.5mm x 34.5mm
- 重量（ケーブルを含む）
  TDS-N5：約 115g
  TDS-N10：約 190g

赤外線受光ユニット取付け木ねじ…… 4
- φ3.1mm x 16mm

接続ケーブル…… 1
- RCA-φ6.3mm プラグ、ケーブル長 x 1.5m

取扱説明書（本書）…… 1
保証書…… 1

■寸法図



※ 本仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
※ この製品は”電気用品安全法”に基づいて作られています。

修理ご相談窓口

株式会社第一興商
CS マーケティング部サービス課
TEL：03-3280-2192

株式会社第一興商　2010.11　初版　Printed in JAPAN